

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年2月27日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1点目、1ページ目の原子力規制委員会についてでございます。

(1) 原子力規制委員会の定例会が、明日2月28日午前中に予定されております。議題は5件予定されております。

まず、議題1「原子燃料工業株式会社熊取事業所（加工施設）の核燃料物質の加工事業変更許可申請書に関する審査書案について」。こちらにつきましては、当該事業所の核燃料物質の加工事業変更許可申請書につきまして、審査書案を取りまとめ、経済産業大臣に意見聴取を行うことについて、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題2「東京電力福島第一原子力発電所の中期的リスクの低減目標マップの改訂の方向性について」。こちらにつきましては、御案内のとおり、原子力規制委員会ではいわゆる1Fの中期的リスクの低減目標マップを策定し、定期的に改訂をしてきているところでございます。この中期的リスクの低減目標マップにつきまして、今回は改訂の方向性につきまして委員会で審議をいただくというものでございます。

続きまして、議題3「IAEA安全基準文書NS-R3（Rev. 1）改定への対応について」。こちらにつきましては、本年1月の委員会の会合におきまして、こちらのIAEA安全基準文書NS-R3、こちらは原子炉施設の立地評価に関するものでございますが、その改定への対応などが課題の一つということで取り上げられたところでございます。これを受けまして、この課題への対応の方針、基本的な方針の案につきまして委員会に報告し、審議をいただくというものでございます。

続きまして、議題4「原子力規制委員会の取組（3.11報告）の公表及び平成29年度マネジメントレビュー等について」。こちらの議題は、原子力規制委員会のマネジメントシステムに関しまして、まず、3.11報告、こちらは国会の附帯決議に基づきまして、毎年取りまとめ、公表しているものでございますが、この3.11報告の公表につき委員会にお諮りをするとともに、平成29年度の重点計画の評価及び課題の方向性等につきまして、委員会に御報告をするというものでございます。

続きまして、議題5「平成29年度安全研究の年次評価結果について」。こちらは議題4のマネジメントレビューに関する議題と一連のものでございますけれども、内容といたしましては、平成29年度に実施いたしました安全研究プロジェクトの年次評価の結果について、委員会に御報告をするというものでございます。

続きまして、広報日程1ページ目下段、(3)原子力規制委員会の臨時会議が来週3月7日水曜日に予定されております。こちらは順次行っております原子力事業者経営層との意見交換の一環といたしまして、今回は日本原子力研究開発機構(JAEA)の理事長、副理事長に出席をいただき、安全性向上のための取組等について、幅広く意見交換を行うというものでございます。

続きまして、広報日程の2ページ目下段になります。2月28日水曜日、(5)の会合でございます。訓練シナリオ開発ワーキンググループの第1回の会合を2月28日に開催する予定でございます。こちらは訓練シナリオなどの検討を行うため、非公開にて開催をさせていただきます。

こちらのワーキンググループ、若干補足いたしますと、2月7日の原子力規制委員会におきまして、このワーキンググループの設置及び開催につき報告が行われたものでございまして、事業者防災訓練の改善に向け、訓練シナリオの検討や結果の評価などを行っていくというものでございます。

第1回となります今回は、議題として記載の2点を予定しておりまして、まずI型訓練、これは指揮者の判断能力向上を目的としまして、プラントシミュレーターなども活用して行うものでございますが、こちらの訓練シナリオや評価の観点などについて検討を行う予定でございます。

また、議題の2では、II型訓練、こちらは現場の対応能力向上を目的として発電所の現場で行われるものですが、こちらの訓練のシナリオや評価の基準などについて検討を行うということを予定しております。

続きまして、広報日程の3ページ目、3月2日金曜日、(7)といたしまして、放射線審議会総会の第140回の会合が午前中に開催される予定でございます。議題はここに記載がございます3件が予定されております。

まず、議題1におきましては「眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について」ということで、先日、眼の水晶体部会において本件に関する報告書が取りまとめられたところでございますので、これについて、放射線審議会としての意見具申とすることにつき決定を求めるというものでございます。

続きまして、議題2では「ICRP2007年勧告の国内制度等への取入れの進め方について」ということで議論が行われる予定でございます。ICRP2007年勧告の国内の関係法令の取入れ状況につき、先般、1月に整理を行ったところでございますが、これを踏まえて今後の進め方について議論がされるという予定でございます。

続きまして、議題3といたしまして「東電福島第一原発事故に関連して策定された放射

線防護の基準に係る関係省庁の調査結果について」という議題とされております。いわゆる1F事故に関連して策定された各種の放射線防護に関する基準につきまして、現状を調査し、整理を行い、まずリストアップをし、整理をしたところでございますので、その内容について報告し、更に今後の整理、検討の進め方について、審議会において議論をいただくというものでございます。

続きまして、その下、(8)の審査会合でございます。こちらは地震・津波関係の審査会合でございます。こちらは定例で通例金曜日に開催されているのは御案内のとおりでございますが、今後、できる限り火曜日のこのブリーフィングの時点で議論の予定されている内容について、お知らせをしていくようにしてまいりたいと考えております。

この3月2日の会合の議題の内容でございますが、大きく2点予定されております。

1点目は、電源開発株式会社・大間発電所に関する審査ということで、基準津波の評価に関しまして、前回審査会合におけるコメントへの回答を求め、議論を行うという予定でございます。

続きまして、2件目といたしまして、北陸電力・志賀原子力発電所につきまして、敷地内破砕帯に関する審査を予定しております。事業者において追加調査が行われてきているところでございますので、その結果を踏まえた説明をいただき、議論が行われるという予定でございます。

私からの説明は以上でございます。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

2点ありまして、1点はせんだっての破局的噴火のことですけれども、確認でもあるのですが、いきなり事務方の方で考え方を整理し、まとめて、規制委員会に上げて、規制委員がそれについて審議するという形をとるのでしょうか。

○大熊総務課長 御質問は、前回の委員会で破局的噴火を含む火山について、考え方を整理しようということが委員会で発言があり、指示があったということでございまして、それを受けて検討するという指示が事務局にありましたので、検討し何らかの整理をして委員会にお諮りをすることになっていくものと思いますが、それがどのような内容のものを整理してお諮りすることになるかというのは、現時点ではまだ検討中という段階でございます。

○記者 それから、第1回訓練シナリオ開発ワーキンググループなのですけれども、これはずっと非公開になる感じですか。

○大熊総務課長 これは初回で、特に今回は訓練のシナリオがございまして、訓練に影

響があつてはいけないということで、非公開にせざるを得ないということで御理解を賜りたいと思いますが、今の予定ではございますが、その次以降、訓練の結果の評価などを行っていく回については、公開で開催できるものと考えております。

○記者 これだけだと何をするのがよく分からないのですけれども、オンサイトにかかわることの訓練という考え方でしょうか。

○大熊総務課長 議題の1、2として2つ書いてございます。議題1の方は、今おっしゃったオンサイトの訓練は、主としてⅡ型訓練という方で想定されている、検討されているものということになります。一方、Ⅰ型訓練という方は、先ほどもちょっと申し上げましたけれども、対応の指揮を行う者の能力を向上するということを目的として、シミュレーターも活用して行うということでございまして、その2種類を組み合わせることで進めていくと。それによって事業者の対応能力の向上につなげていきたいと、こういうふうを考えているものであります。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—